

20
SAGA SAIKO
COMPANY PROFILE



製造業
(機械金属系)

株式会社 ワイビーエム

国内シェア約70%

環境機械製造のパイオニア

地下と水の技術で環境を守る

「私たちの仕事は“塀の中”なんですよ」。そう明るく話してくれたのは、地盤改良や土壌地下水汚染調査などで使用される環境機械の製造で国内シェア1位を走り続けるワイビーエムの吉田社長。

中小企業庁の第50回グッドカンパニー大賞特別賞を受賞し、経済産業省の地域未来牽引企業にも選定された同社ですが、“環境機械”と聞いても、パツとは分かりにくいかもしれません。吉田社長いわく「要は、建築機械を作っている会社です」とのこと。主に工事現場の基礎に使われる機械であり、騒音や安全性の面から“塀の中”で活躍しているため、一般の人の目には触れにくくなっています。

もともとは戦後すぐに鉱山用機械の製作からスタート。地下を掘るボーリングマシンの製造を機に、建物を建てる際の基礎部分を作るための地盤改良や地下水の調

査、浄化用関連の機器製造に徐々に特化するようになりました。徹底した低騒音・小型軽量化・省人化・省力化・スピード化・コンピュータ化、そして安全を目指し、研究開発を推進しています。

ミリ単位の制御技術でNo.1に

平成7年(1995年)の阪神・淡路大震災で地盤改良等の技術が注目され、平成23年(2011年)の東日本大震災で発生した液状化現象などにより、再度その重要性が叫ばれるようになりました。東京2020オリンピック・パラリンピックを前に建築ラッシュに沸く建築業界においても、なくてはならない技術です。

「技術的には、宇宙でも制御可能です」と吉田社長が胸を張るように、進化し続ける通信技術を味方につけ、遠隔地操作による細かな制御も可能に。10メートルはある

ボーリングの機械で穴の深さをミリ単位で制御できる技術は他に類を見ません。

また、水の浄化システムの研究開発や、有明海にも応用される底質改善など環境への技術開発も進められています。

「チャレンジするところに成長がある」と語る吉田社長の下、全く新しい分野への取組も積極的に行い、次世代へ向けて挑み続けています。



代表取締役社長
よしだ りきお
吉田 力雄

全国の地盤改良で活躍している
G1シリーズ



株式会社ワイビーエム

☎ 0955-77-1121

[所] 唐津市原1534

[創業] 昭和21年(1946年)

[従業員] 280名

[HP] <https://www.ybm.jp/> ワイビーエム 検索

ここがポイント!



海外でもワイビーエムの機械は高く評価されており、特に東南アジア、中国にシェアを広げつつあります。事務所のあるインドネシアでは、スマトラ島に新たな高速道路を作るJICAのプロジェクトに参加。“地下と水の技術”で、美しい地球環境づくりにグローバルに活躍しています。